



学校だより

3月号

令和7年2月28日
江戸川区立瑞江小学校

子どもを育てる地域の力

校長 牧岡 優美子

四季が巡り、春がやってきました。しばらくは三寒四温で寒暖差もありますが、気象庁から桜開花予報も出ています。東京は3月22日（土）とのこと、卒業式に間に合うといいです。卒業式は、6年間お預かりした子どもたちを中学へ進学させる旅立ちの式！学校にとってとても大切な行事です。学校では連日「6年生を送る会」「お祝い給食」「卒業を祝う会」など、卒業する6年生をお祝いする行事の準備が続いています。

さて、本校が所属する瑞江地区には、年間を通して子どもたちのための行事がたくさんあります。少年野球大会、各町会の夏祭り、瑞江地域運動会、東部地域祭、ネオホッケー大会などです。他地区でも様々な子どもの行事はありますが、東部地域祭での読書感想文コンクールは、瑞江地区ならではです。楽しい行事だけでなく、学習コンクールが設定されている地域は珍しいと思います。区長賞をいただいた子は、表彰式で斎藤区長様から賞状を受け、とても誇らしい姿でした。

そして、中でも印象的だったのは、ネオホッケー大会です。私は、今年度4月に着任してから「瑞江地区はネオホッケーなんですよ」と、地域の皆さんから何度も聞いていました。江戸川区では、ポッチャ大会やドッジボール大会を開催している地区がありますが、「ネオホッケー」は初めてです。「瑞江小学校は強いんです。今年も頑張ってください」と応援されてきました。3学期に入ってから校内ではネオホッケーの話題が増え、瑞江地区ネオホッケー講習会には多くの子どもたちが参加しました。2月の大会日程が発表されるとすぐ、担当教員がチーム編成について取り組みました。希望者を募って練習日程を組み、練習相手の「先生チーム」は手加減をせず、作戦を練る熱心なコーチになりました。大会に参加する子どもたちは、体育館で真剣に練習を続けました。

瑞江地区のネオホッケー大会は今年で第36回、長い歴史があり地域の大切な行事です。2月16日（日）当日は朝早くから瑞江地区の皆さんや、江戸川区のスポーツ推進委員の方々が準備してくださいました。会場は2か所に分かれ、低学年の部は下鎌田小学校、高学年の部は春江小学校で行われました。両会場には、多くの保護者、地域の皆さんが駆けつけてくださり、全力で戦う子どもたちの姿に、応援する大人も燃えました。攻める子だけでなく、守備の子も作戦通りに役割分担をして挑んでいる子どもたちはリーグ戦、準決勝、決勝と勝ち続け、今年は低学年の部、高学年の部ともに優勝でした。会場の惜しめない拍手に包まれて嬉しそうな子どもたちの姿、瑞江地域が皆で子どもを育てようとしてくださることに、改めてありがたいと感じました。

最後になりますが、今年度、本校の様々な教育活動に多大なご支援・ご協力を賜りました保護者、地域、学校関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

